



50年前の淳心学院高校生制作 影絵劇「よだかの星」

再現上映会

★日時 令和5年(2023年) 9月23日(土・祝)
午後2時～3時(開場:午後1時30分)

★会場 姫路文学館 講堂(北館3階)

★定員 120人

参加自由・無料 ※参加者は当日に限り常設展観覧無料

1970年、兵庫県姫路市の淳心学院高等学校で、ふたりの1年生が中心となり、宮沢賢治「よだかの星」の影絵劇が自主製作・上演されました。

ひとり、のちに映画評論家・SF小説作家となる故・東海洋士さん(1954年姫路市生まれ、2002年没)、

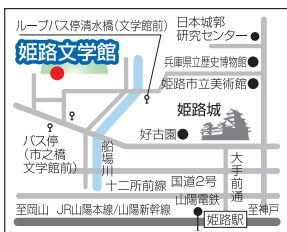
もうひとり、現在ミステリー界の第一線で活躍中の作家竹本健治さん(1954年相生市生まれ)です。

脚本・演出・音楽選定を東海さんが、美術を竹本さんが担当し、朗読を仲間分で担当しました。

当時の背景画のスライド、音源を保管する竹本さんらがこの作品を東京や佐賀で再現上演してきましたが、このほど、恒久的保存のためにデジタル映像化しました。

今年、宮沢賢治没後90年。

名作に挑んだ半世紀前の高校生たちの才気と瑞々しい感性に、どうぞ思いを馳せてみてください。



〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL 079-293-8228



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
<http://www.himejibungakukan.jp/>